

東京連合支部

各支部定時総会を開催

6月8日(土)に市ヶ谷私学会館において、東京4支部各支部定時総会・講演会を開催した。出席者は工業会本部・他支部来賓も含め42名であった。

冒頭、東京連合支部長として、また工業会副理事長として工業会の運営に多大な貢献をされた故篠崎雅継氏(2023.10.21 逝去)を偲び、長倉恵一氏よりお心のこもった追悼を賜り、そのあとに物故社員9名に哀悼の意を込めて、全員で黙祷を捧げました。

各支部総会では2023年度事業報告と2024年度事業計画(案)並びに連合支部/4支部会計報告を審議し、それぞれ承認された。その後小松原理事長より来賓のご挨拶を頂いた。

講演会では東京工業大学副学長大嶋洋一氏(修 63L)より『アカデミアを活用したオープンイノベーション』と題し、近時の産学連携は組織対組織の大型な産学連携でアカデミアを活用したオープンイノベーションが展開されつつ有り、東工大の事例を紹介しながら将来の方向性についてのご紹介があった。自動車ジャーナリスト川端由美氏(修 H07Z)より『CASEとSDVに見る自動車産業の変革』と題し、百年に一度と言われる自動車産業の変革期において、大きなキーワードとなっているのはCASEとSDVで、次世代モビリティにおける変革についてご講演を頂いた。

その後、立食での懇親会を催し、他支部出席者6名様からもご挨拶を頂き交流も深まり歓談に時間を忘れる程でありました。

(東京連合支部長 伊藤 吉晴 47W)

